

平成28年8月9日
九州地方整備局
大隅河川国道事務所

記者発表資料

「第2回 肝属川水防災意識社会再構築協議会」の開催について ～いつかくる大規模出水に備えた水害に負けない強い大隅地域づくりの推進～

- ◆8月16日（火）に第2回「肝属川水防災意識社会再構築協議会」を開催します。
- ◆協議会では「肝属川の減災に係る取組方針」を決定する予定です
- ◆「肝属川の減災に係る取組方針」は施設規模を越えるような大規模出水に流域全体で対応するため”いつかくる大規模出水に備え、水害に負けない強い地域づくりを目指す”を目標として、平成32年度までに協議会の構成員が連携し取り組むべき、減災のためのハード対策やソフト対策をまとめています。
- ◆流域の鹿屋市、肝付町、東串良町、鹿児島県、鹿児島地方气象台、大隅河川国道事務所が共同で水害に関する減災計画を作成するのははじめての取り組みです。

1. 日 時：平成28年8月16日（火）13時30分～14時30分（予定）
2. 場 所：大隅河川国道事務所3階 大会議室
3. 出席予定者：鹿屋市長、肝付町長、東串良町長、鹿児島地方气象台長、鹿児島県 土木部長、鹿児島県 危機管理局長、大隅河川国道事務所長
4. 取材について：報道機関へのみの公開となります。テレビカメラ等による撮影は、意見交換の妨げにならないようご配慮願います。

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1 電話（0994）65-2541

技術副所長 島元 尚徳 （内線204）

調査第一課長 牧之内 洋一 （内線351）

**「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
肝属川の減災に係る取組方針**

**『いつかくる大規模出水に備えた
水害に負けない強い大隅地域づくりの推進』
(案)**

平成28年8月16日

肝属川水防災意識社会再構築協議会
鹿屋市、肝付町、東串良町、鹿児島県県、
鹿児島地方气象台、国土交通省大隅河川国道事務所

**「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
肝属川の減災に係る取組方針(案)の構成**

1. はじめに
2. 本協議会の構成員
3. 肝属川の概要と主な課題
4. 現状の取組状況及び課題
5. 減災のための目標
6. 概ね5年間で実施する取組
7. フォローアップ

■5年間で達成すべき目標

いつかくる大規模出水に備えて、
水害に負けない強い地域づくりを目指す。

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

地球温暖化の影響により、肝属川で昭和13年や昭和51年洪水など過去発生し、甚大な被害を及ぼした洪水を越える大規模出水に備え、河川管理者が実施する河道掘削やシラス堤防強化対策などの洪水を安全に流すためのハード対策に加え、自主防災組織の活動など流域住民が自ら迅速かつ自主的な行動し、被害を最小限に抑えるためために、協議会構成機関が連携し、地域住民と協同して水害に負けない強い地域づくりを目指すため以下の取組を実施していく。

1. 地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信に関する取組
2. 地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育などに関する取組
3. 地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防活動が行える訓練等のソフト対策に関する取組

2

肝属川水防災意識社会再構築協議会委員

九州地方整備局 大隅河川国道事務所長

気象庁 鹿児島地方気象台長

鹿児島県 土木部長

鹿児島県 危機管理局長

鹿屋市長

肝付町長

東串良町長